

2018 年度全日本学生ヨット個人選手権北海道予選

共同主催 北海道学生ヨット連盟 北海道セーリング連盟 小樽セーリング協会
会場 小樽市祝津ヨットハーバー沖
大会期日 2018 年 7 月 21 日(土)~2018 年 7 月 22 日(日)

レース公示(NoR)

1 適用規則

- 1.1 本大会は、『セーリング競技規則 2017-2020』（以下『規則』と表記）に定義された規則を適用する。
- 1.2 規則 42 違反に対し付則 P を適用する。
- 1.3 国際スナイブ級について、SCIRA 規則の『国内選手権および国際選手権大会運営のための運営規則』は同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規程を除き、適用しない。
- 1.4 本大会の全ての規則を決定するのは次の通りとする。
 - 1.4.1 [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。
 - 1.4.2 [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1 (a) を変更している。

2 競技種目

- 2.1 (1) 国際 470 級 (2) 国際スナイブ級

3 参加資格および申し込み

3.1 参加資格

- (1)平成 30 年度日本セーリング連盟の会員であること。
- (2)全日本学生ヨット連盟に所属している大学の選手が参加する場合は、全日本学生ヨット連盟規約第 6 条を満たしていること。

(3)国際 470 級の競技者は、2018 年度日本 470 級協会の会員であること

(4)国際スナイプ級の競技者は、2018 年度 SCIRA 会員であること。

3.2 レース乗艇員

1 チーム選手 3 名とし、ヘルムスマンの変更は認めない。

3.3 参加申込み

(1) 以下の参加申込書の全てに記入の上、平成 30 年 7 月 11 日(水)までに下記あてに電子メールで必着すること。

(a) 参加申込書-1 (参加艇情報)

(b) 参加申込書-2 (支援艇許可申請書)

(c) 支援艇の船検証のコピー

(2) 期日を過ぎてからの参加申込み (書類の不足または不備を含む) および競技者の追加変更登録は原則的に認められない。

3.4 参加申込先

【送付先】

氏名：三木茜 メールアドレスは後日通達する。

4 参加費用

4.1 エントリー費

6000 円/艇

4.2 エントリー費の振込

エントリー費は以下の口座に、期限内に振り込むこと。

振込先：北海道学生ヨット連盟 銀行：北洋銀行 小樽駅前支店 口座番号：345 3306717

振込期限 平成 30 年 7 月 11 日(水)

5. 艇

5.1 艇は、原則として参加チームの所有艇とするが、参加チームが手配したチャーター艇も認める。

5.2 国際スナイプ級の艇は、2018 年度 SCIRA 登録を完了していること。

5.3 [DP] 艇体には、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』に基づく大学名の表示をしなければならない。

6 セール [DP]

6.1 原則として、大会期間中は受付時に示したセール番号を使用すること。ただし、レース委員会が認めた場合には、他のセール番号の書かれたセールを使用できる。

6.2 国際 470 級はスピネーカーとメインセールに書かれている番号が一致していること。

また国際 470 級のセールは基本計測が終了していること。

7 レース日程

7.1 各日の日程

6月23日(土)	国際470級 計測
6月24日(日)	国際スナイプ級 計測
7月21日(土)	
07:30-08:00	受付
08:20-08:35	ブリーフィング
08:40-08:50	開会式
10:00	国際470級 第1レース予告信号掲揚予定時刻 国際スナイプ級は国際470級のスタートに引き続き行われる。 以降のレースは引き続き行う。(以下同様。)
15:30	国際470級最終予告信号掲揚予定時刻
7月22日(日)	
08:20-08:35	ブリーフィング
09:30	国際470級 第1レース予告信号掲揚予定時刻 国際スナイプ級は国際470級のスタートに引き続き行われる。 以降のレースは引き続き行う。(以下同様。)
13:30	国際470級 その日最初のレースの予告信号掲揚予定時刻

※1：レース数は2日間で8レースとする。

8 帆走指示書の配布

8.1 7月上旬に、北海道学生ヨット連盟のホームページ上に公開する。

また、大会当日に帆走指示書の配布は行わない。

9 得点方式

9.1 シリーズの成立には1レースを完了することが必要である。

9.2 5レース未満しか完了しなかった場合には、艇のシリーズの得点は、レースの得点の合計とする。

9.3 5レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

10 無線通信 [DP] [NP]

10.1 緊急の場合を除き、レース中の艇は無線の送受信をしてはならない。またこの制限は携帯電話にも適用される。

11 賞

11.1 各クラスとも、第1位から第3位の選手に賞状を贈呈する。

12 [DP] 支援艇

12.1 支援艇

支援艇は、監督、コーチまたはその指示するものが乗艇するエンジン付きポート及びクルーザーで、水上においてレース中ではない自校に所属するレース艇に対し、以下の支援ができる。

(a) レース艇（選手）へのアドバイス、応援。

(b) レース艇の交換装備の積み込み、装備交換の援助、破損した装備の引き取り。

(c) 選手の交代。

(d) 飲料水、食事の選手への供与、ゴミの引き取り。

12.2 支援艇を持ち込む場合は基本的に事前登録が必要である。登録は「参加申込書-2」として郵送した「支援艇許可申請書」を参加申込時に郵送することにより完了する。登録に基づき、支援艇には受付時に「支援艇許可証」が発行され、レース委員会から緑色旗が貸与される。支援艇は水上において常に緑色旗を掲揚しなければならない。

12.3 支援艇は、「支援艇許可証」及び帆走指示書に記載されるレース委員会からの指示事項を守らなければならない。

12.4 レース委員会の指示に従わなかった支援艇は、以後出艇が許可されないほか、当該支援艇に関わるチームの全レース艇に対してプロテスト委員会の裁量によるペナルティーが課せられることがある。

12.5 支援艇は、レース委員会及びプロテスト委員会の無線を傍受してはならない。

13 責任の否認

13.1 このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4『レースをすることの決定』参照。主催団体は、

レガッタの前後、期間中に生じた物的損害又は人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

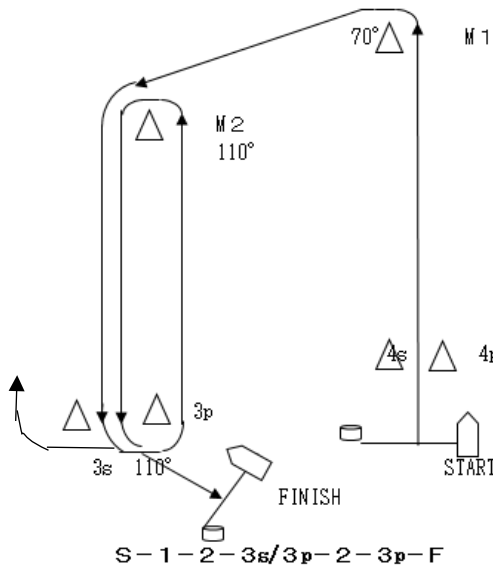
14 問い合わせ先

14.1 当レガッタに関する問い合わせは、次の通りである。

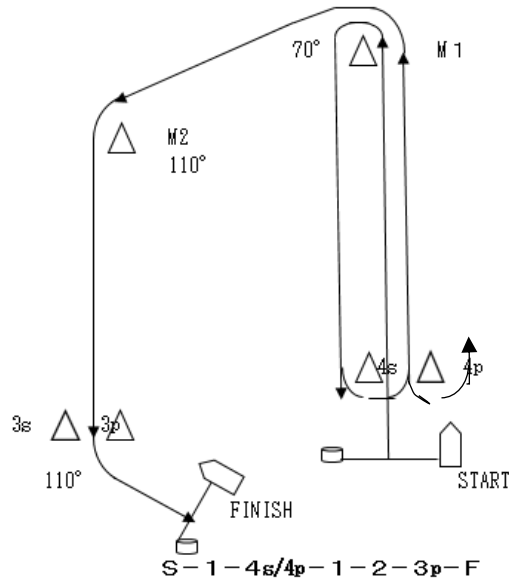
北海道学生ヨット連盟委員長 三木茜

「添付図 2」 コース

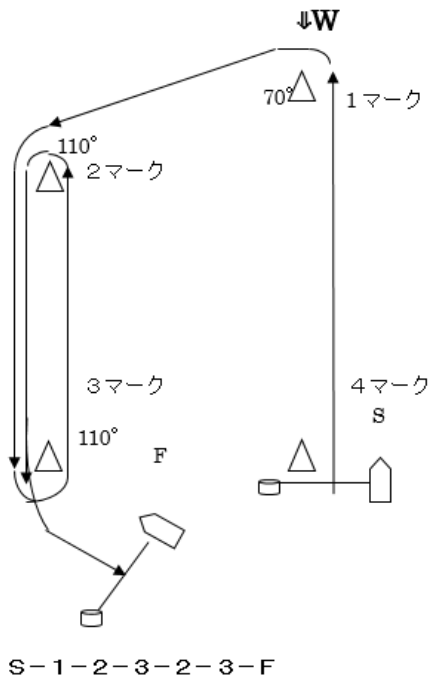
コース 1 : 02



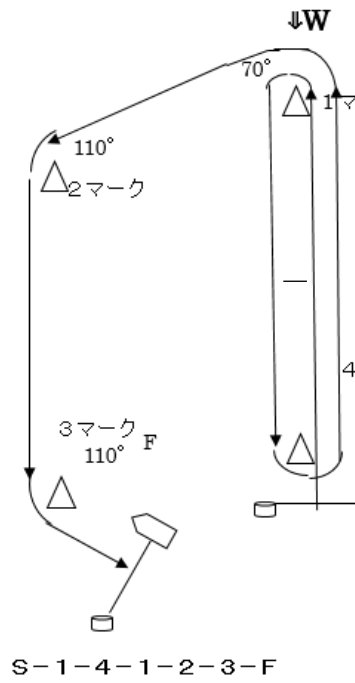
コース 2 : I2



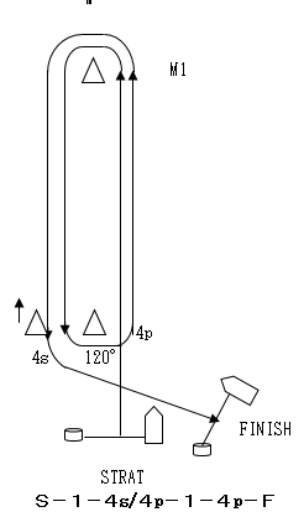
コース 3 : 01



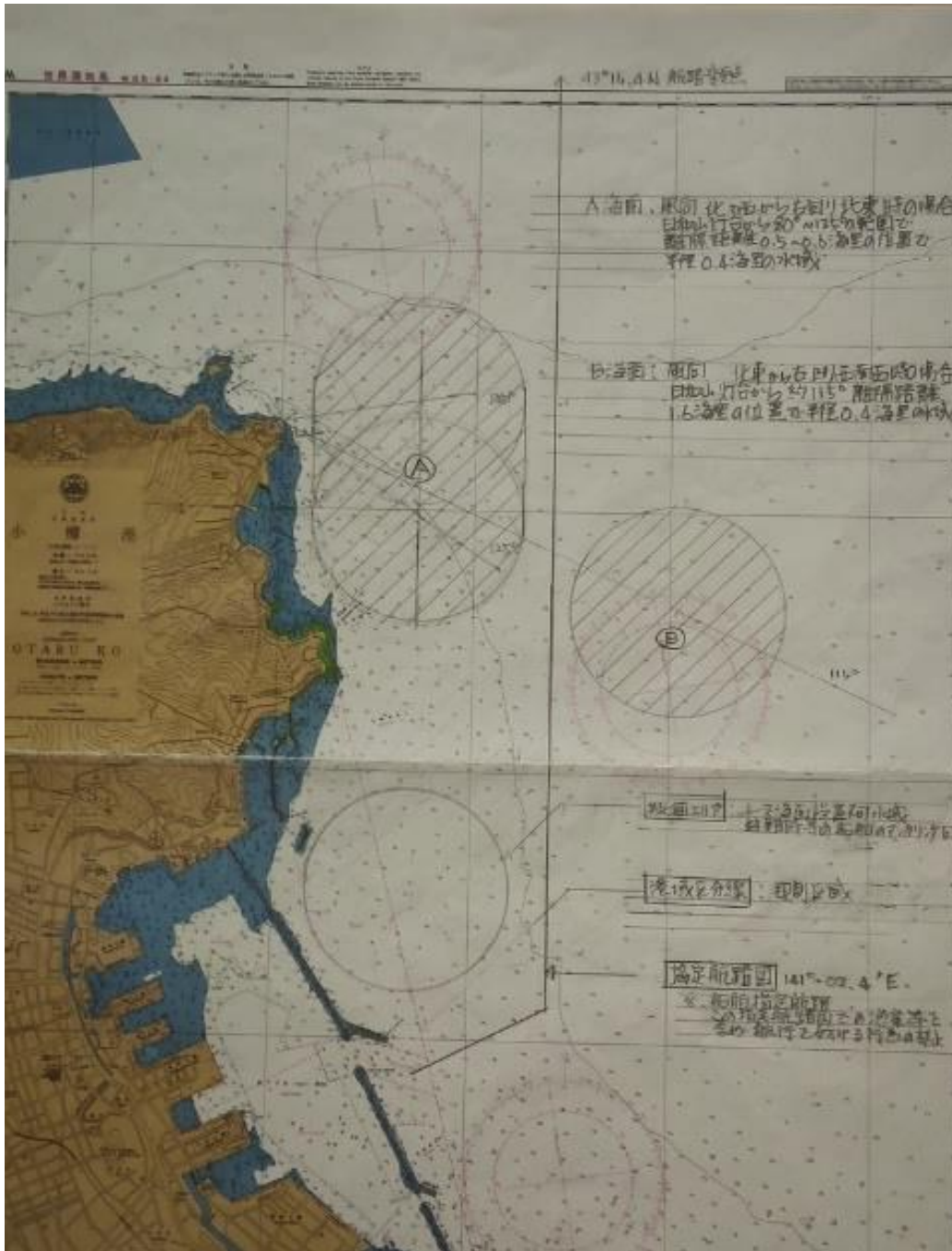
コース 4 : I1



コース 5 : LR2



「添付図 1」 レース海面 小樽市 祝津沖



主要座標 緯度1度=緯度60分=60海里
 緯度1分=1海里(NM)=1.852KM

祝津沖水域	: 緯度 43° -13.0 N~43° -14.9 N	東経 141° -01.2 E~141° -03.7 E
海面 A	: 緯度 43° -13.6 N~43° -14.8 N	東経 141° -01.2 E~141° -02.3 E
同中心	: 緯度 43° -14.0 N~43° -14.4 N	東経 141° -01.7 E
海面 B	: 緯度 43° -13.2 N~43° -14.0 N	東経 141° -02.5 E~141° -03.7 E
同中心	: 緯度 43° -13.6 N	東経 141° -03.0 E
* 協定航路		東経 141° -02.4 E
ハーバー入口	: 緯度 43° -14.1 N	東経 141° -00.9 E